

総合政策委員会

市長公室、都市戦略本部、総務局、財政局、経済局、出納室、選挙管理委員会、 人事委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会



松本 翔(岩槻区/委員長)



高柳 俊哉(中央区)



西山 幸代(大宮区)

調査研究テーマ「未来都市の在り方について」

【6月定例会】 議案「職員の働き方改革」 「大学年代の子等の控除 150万とする市税条例改正」 報告「公の施設に係る使用料見直しの 基本的な考え方

【9月定例会】 報告「債権放棄」 「地下鉄7号線延伸事業及び 沿線周辺まちづくり」

議員からの質問

- ・公文書の管理
- ·国際化推進·多文化共生
- ・投票率の向上
- ·避難所運営

- ・平和行政の推進
- ・カスタマーハラスメント条例
- ·公契約条例
- ・スマートシティ

子ども文教委員会

子ども未来局、教育委員会



佐々木郷美(見沼区/副委員長)



小柳 嘉文(浦和区)



佐伯 加寿美(大宮区)

6月定例会より「子ども文教委員会」を新設

(教育委員会と子ども未来局が所管)

【誰一人取り残さないことが役所の担う最重要課題と考える】

- ◆インクルーシブ教育の推進
- ◆Solaる一むの運用など不登校児童・生徒への支援
- ◆さいたま市放課後子ども居場所事業 などを重点実施

大きな課題・・・

物価高騰などの影響により、学校施設の新設・ 大規模修繕などの工事の入札不調が続いている

市民生活委員会

市民局、スポーツ文化局、環境局、消防局



出雲 圭子(西区/委員長)



阪本 克己(桜区)



相川 綾香(北区)

調査研究テーマ「市民・事業者と取り組む ゼロカーボンシティの実現に向けて」

【6月定例会】

議案<u>「脱炭素先行地域での事業者選定委員会</u> 条例の制定」

報告「2025ツールド・フランス・さいたま クリテリウム開催について」 「さいたまマラソン2026の開催について」 【9月定例会】 議案「<u>救助工作車川型、大型水槽車、</u> <u>救急自動車購入</u>」 報告「第4回さいたま国際芸術祭の

概要について」

議員からの質問

- ・桜環境センター温浴施設について
- ·さいたまクリテリウムの運営、ASO契約について
- ・区政の適正規模、人口予測と再編について
- ・大宮体育館の現状と課題改善について
- ・埼玉大学で創設されるダイバーシティ科学専攻科について

保健福祉委員会

保健衛生局、福祉局



三神 尊志(見沼区)

さいたま市立病院の経営について

経常収支比率=100%以上で黒字

新病院建設、物価高騰、人員増等による支出増

病床利用率の向上など収益性を高める努力中

提案:市内全域からのアクセス性を高めては





まちづくり委員会

都市局、建設局、水道局



堤 日出喜(緑区/副委員長)



添野 ふみ子(浦和区)

まちづくり委員会での主な議案、報告事項

◆さいたま市総合都市交通体系マスタープラン

◆公募設置管理制度(Park-PFI)

議員からの質問

- 市街化調整区域における違反開発対応について
- ・無電柱化整備について
- ・埼玉スタジアムの公共交通アクセスについて
- ・調整池(調節池)について

手話言語条例成立



6月定例会

手話言語条例検討プロジェクトチームの概要

◆設置目的

障害者権利条約や障害者基本法において手話は 言語として規定されています。また、本市では、 ノーマライゼーション条例に基づく障害者総合支 援計画に「手話は言語である」ことを明記し各施 策を推進しているところです。しかしながら、更 なる手話への理解及び手話の普及を推進するた め単独の理念的な条例の制定が必要と考えるた め手話言語条例検討プロジェクトチームを設置 いたしました。



政策条例PTでの議論の 詳細はこちらから

9/11市立浦和南高校・写真部員の取材



9/23「国際手話デー」 「世界平和」を表すブルーライトアップ



9/22県内巡回のPRカーが来庁 陸上女子の門脇翠選手もガッツポーズ





ノルウェーと日本の投票率









税軽減、規制緩和

【応対者】元ビジネスマン



社会主義左翼党(左派)

富の再配分、環境保全

【応対者】学生時代に選挙小屋で 左翼党の話を聞き共感



労働党 (中道左派)

「異なる意見も認めるのが民主主義」

【応対者】パキスタン移民3世



選挙小屋に話を聞きに来た高校生たち

学校の欠席・遅刻の ルール厳格化に反対

気候変動対策が必要



こんな党も…

年収700万円以下の世帯は課税ゼロに 移民排斥・国内優先で財源確保 「ノルウエー ファースト」

当選者0人



キーワード: 「民主主義」



「憎しみに囚われて社会の寛容さを否定すれば、犯人の思うつぼ」



過激思想を排除するのではなく、 包摂と対話を通じて考えるプロセスこそが重要







※アンケートのご協力をお願い致します。



本日は誠にありがとうございました。お気をつけてお帰り下さい。